

歴史コースの特徴 通訳案内士1次試験対策講座

政府の定めた通訳案内士試験のガイドラインによると、「試験は、難易度の極端に高いものであってはならず、日本の歴史についての主要な事柄（日本と世界との関わりを含む。）のうち外国人観光旅客の関心の強いものについての知識を問うものとする。」とされています。そこで、テストでは、4つの時代に分け、歴史的な事実のうち、過去問題や外国人観光客の関心を踏まえて、出題します。

例 高野山と真言宗、鶴岡八幡宮と鎌倉幕府、金閣寺と足利吉満、伊勢神宮と東海道等

また、講義では、テストの回答をしつつ、各時代の特徴を理解できるように解説します。これは、氏名、年代、事件等の暗記に役立つだけでなく、2次試験での基礎力を養います。

※テキスト：山川書店「新日本史」・IJC EE独自テキスト

日 時		区分	テストと講義内容
3月2日(金)	9時30分～11時30分	講義①	古代(飛鳥時代・奈良時代・平安時代)
4月13日(金)	11時45分～12時30分	テスト	中世(鎌倉時代・室町時代)
4月27日(金)	9時30分～11時30分	講義②	中世(鎌倉時代・室町時代)
5月11日(金)	11時45分～12時30分	テスト	近世(江戸時代)
5月25日(金)	9時30分～11時30分	講義③	近世(江戸時代)
6月22日(金)	11時45分～12時30分	テスト	近代(明治時代・大正時代・昭和時代)
7月6日(金)	9時30分～11時30分	講義④	近代(明治時代・大正時代・昭和時代)
8月3日(金)	11時45分～12時30分	テスト	建築・庭園・美術と文化・思想
8月10日(金)	9時30分～12時30分	講義⑤	建築・庭園・美術と文化・思想